

- 自動水管理システムや自動操舵付き農機の効果を最大限発揮するため、圃場の均平や大区画化を行う。
- 収量コンバインで得られた収量データを計画内の農業者間で共有・分析することにより、可変施肥を実施。

経営上の課題

高齢化や担い手不足により1経営体あたりの経営面積が増加しており、経営の安定化に向けて省力化や生産性の向上が不可欠。

農業機械の導入費用に対し、効果を十分に発揮するには、圃場条件の整備やデータの共有に合わせて取り組む必要

申請者：

株式会社川合農場、得能農事産業有限会社
(北海道秩父別町)

対象品目：

水稻

スマート農業技術：

- ・自動水管理システムによる水管理の自動化
- ・自動操舵付き農機
- ・収量コンバインによるデータ取得

新たな生産方式：

- ・自動水管理システムの効果を発揮するための圃場の均平
- ・圃場の大区画化
- ・収穫データを共有・分析し可変施肥に活用

活用予定の支援措置：

補助事業の優遇措置

計画の概要

スマート農業技術

自動水管理システム



水管理の省力・精密化

自動操舵付き農機



直進作業の精度向上

収量コンバイン



収量データ等の活用

新たな生産方式

圃場の均平

スマート農業技術の活用に適した
圃場の形状の変更

圃場の大区画化

データの共有・分析

農業者間でデータを共有・
分析し可変施肥を実施